

地球環境について考える

その他の予防医学と豆知識

下の地図は横浜市の地図ですが、上は 1960 年、下は 2000 年のものになります。わずか 40 年の間に横浜の緑が 10%以下に減じていることを示しているものです。北極圏での氷も 1980 年から僅か 20 年の間に 1/4 にまで減じていると NASA が報告しております。神奈川県と同じ面積の熱帯雨林は世界規模で 5 日間で消滅していると聞いております。これは他人ごとでは無く、我々人類全てに関わってくる問題です。しかし、残念ながら日本においてもその問題に危機感を感じさせるような報道も僅かでしかありません。結局、日本もアメリカも自国に大きな問題が起きない限り行政主導では真剣には取り組まないのでしょうね。個人レベルで一生懸命取り組まれている方々も大勢いますが、個人の力では限界がありますので、皆で共感しながら少しでも地球に優しく出来ればと思います。皆さんで出来ることに、ゴミを減らすことがあります。生ゴミを堆肥に変える、使い捨てモノをなるべく使わない、化学洗剤を使わない、ご飯を残さないなどが皆さんの身近な方法でもございます。例えばラーメンの汁をそのまま排水に流したとき、魚が済む環境を得るためには風呂桶 1 杯分の水が必要になるといわれております。環境負荷を少しでも減らしていく生活が望まれております。当院でも環境負荷を減らすため、使い捨てペーパータオルは使用を控え、洗剤には自然石鹼を用いております。院内の生ゴミは堆肥に変え、畑に使用しております。また太陽光発電を取り入れ、院内の電力供給に回しております。

エコといわれる場合に最近ではオール電化というものがその代表として言われておりますが、ここは注意が必要です。電気を供給する場所には原子力発電の建設が必要になり、地域に非常に大きな負荷が掛かっていることを理解する必要もあります。

また、最近では「電磁波過敏症」という問題も世界ではクローズアップされており、特に IH ヒーターの強い電磁波に反応する人々が多く出現していることも事実です。日本政府の公式見解では、電磁波は健康に対して無害というスタンスですが、世界に眼を向けた場合、そうではありません。皆さんも個人のレベルで、地球に優しい生活、地球との共存というものを是非、お考えになって見てください。

